

予算決算委員会厚生分科会記録

1 日 時 令和3年2月2日（火曜日）

開 会 午前10時20分

閉 会 午前10時36分

2 場 所 第2委員会室

3 出席委員 9人

分科会長 高田真里

分科会副会長 泉英之

委 員 松井邦人

// 金井毅俊

// 橋本雅雄

// 松井桂将

// 鋪田博紀

// 高田重信

// 高見隆夫

4 欠席委員 0人

5 説明のために出席した者

【福祉保健部】

部長	酒井 敏行
部次長	岸 重臣
部次長（医療介護連携・総合ケア・高齢者福祉担当）	高畠 利明
保健所長	瀧波 賢治
参事（地域保健活動担当）	加藤 浩子
参事（保健所次長）	古川 弘美
参事（保健所保健予防課長）	宮崎 英明
生活支援課長	丸本 昌
保健所地域健康課長	横山 浩二
福祉政策課主幹（調整担当）	澤野 重雄

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課議事係長	酒井 優
議事調査課主査	白山 江梨花
議事調査課主事	北山 栞

7 会議の概要

分科会長 ただいまから、令和3年2月臨時会の予算決算委員会厚生分科会を開会いたします。

 審査に先立ち、分科会記録の署名委員に、松井 邦人委員、金井委員を指名いたします。

 各案件の審査については、お手元に配付してあります審査順序のとおり行う予定であります。

 なお、質疑については、議案に直接関係あるものだけをお願いいたします。

 また、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願いいたします。

 これより、福祉保健部所管分の議案の審査を行います。

 議案第1号 令和2年度富山市一般会計補正予算（第9号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳出第4款衛生費、第2条繰越明許費の補正

 を議題といたします。

 これより、当局の説明を求めます。

福祉保健部長 〔挨拶〕

保健所次長 〔議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

鋪田委員 ワクチン接種の委託料ですけれども、これは先ほど本会議での議案質疑の中で、集団接種に関しては、何チーム編成になるのかまだ分からないという答弁がありました。
個別接種や集団接種でそれぞれどのくらいの方が接種されるのかというような想定といたしますか、見込みは何か立てていらっしゃるのでしょうか。

保健所次長 接種体制につきまして、個別接種、集団接種の割合というものは、本市にございます医療資源の活用状況に大きく影響を受けるところがあります。
それにつきましては、今、本市では、医師会の先生方と個別接種の促進ということをまず第一に挙げ、集団接種につきましては、補完するような形でというふうに考えております。

高見委員 このワクチン接種に関しては、非常に順調な形で、なるべくスムーズに行っていただきたいという希望を持っているわけですが、二、

三日前、外国の接種状況に関することをテレビで取り上げていました。一度ワクチンを解凍してしまうと、元に戻せないとのことでした。そして、接種の予約をしても来ない人がいるらしいのです。その枠を求めた接種希望者で長蛇の列ができているというような報道がなされていたのですが、そのようなことへの対応というのは、何か考えておられるのですか。

保健所次長 議案説明資料2ページ(3)のイに、予約・相談体制に係る業務という項目がありますが、こちらの予約センターで、医療機関ごとでロスが出てきた場合に、ロスを引き受けるような形の……

(発言する者あり)

保健所次長 ワクチンのロスについてですね。今委員がおっしゃったように、1バイアルで6人に接種できるのですが、医療機関ごとにそれを解凍してしまって、バイアルに残ったワクチンの使用期限があと6時間しかないというようなことになってしまったら、ワクチンのロスが発生して、非常に無駄になってしまいます。そのようなロスを減らすことができるように、

医療機関での接種について、インターネットでの申込みが可能となるような受付体制を取れるシステムを大至急構築しているところです。

高見委員 今、EUは、ワクチンの輸出に関してもう相当厳しい規制をかけてきております。そういったことから、貴重なワクチンでありますので、仕事は大変だと思いますが、無駄が出ないように、またひとつよろしく願います。

松井 桂将委員 まだ感染拡大が続いている中で、このワクチンは決定打になるというふうに思っております。

議案説明資料2ページの(3)イには、「接種記録をシステム登録し、管理する」と記載されておりますけれども、ワクチンを製造しているメーカーは、今、複数あります。だから、管理も大変だと思います。

また、リアルタイムで接種の進捗が分かるように、マイナンバーを活用するというのも仄聞しておりますけれども、この取組について、分かる範囲でいいので教えてください。

保健所次長 ワクチンの流れにつきまして、現在、厚生労

働省では、「V-SYS」というシステムを開発しておられます。これにつきましては、市町村、県、国がデータでワクチン管理を行っていくという流れになっているのですけれども、今ほど委員がおっしゃいましたマイナンバーの活用につきましては、その情報をこのシステムにどうかみ合わせていくのかということが、現段階ではまだ明らかになっておりません。

ただ、まだ若干の時間の猶予がございますので、現場でどういうふうにデータが流れていくのかということについて、国からの指示等を確認しながら、取りこぼしのないように進めていきたいと思っております。

松井 桂将委員 あと1点、基礎疾患をお持ちの方というふうにされていますが一ワクチン接種の優先順位としては高齢者の後に来ますけれどもこの基礎疾患があるというのは、何ををもって判断し、その方に御案内するのでしょうか。

保健所次長 基礎疾患につきましては、対象となる疾病を国のほうで指定しておられます。
ただし、例えばそれについての医療機関の証明を提示することが必要であるなどといったことはなく、現段階では、御本人からの申告

に基づくということになっております。

泉委員

今、松井 桂将委員もおっしゃったとおり、ワクチンの種類については、ファイザー製だとか、モデルナ製、アストラゼネカ製だとかいろいろあるのですが、保管時の温度管理については、報道によると、一部ではマイナス80度からマイナス20度、英国製ですとマイナス2度となるそうです。

議案説明資料では、1回の接種委託料が税込みで2,277円となっています。多分そうではないのだろうと理解しているのですが、その金額は、ワクチン自体の価格も含めたものなのかまず聞きたいです。

保健所次長

ワクチンにつきましては、国が一括買入れをしておりますので、流通の価格には乗っておりません。物だけが動くという形です。

2,277円という金額につきましては、接種を実施される医療機関への手数料のような、診療費的な扱いのものとなっております。

泉委員

それと、もう1問ですが、今、温度管理の基準が一番厳しいと言われているファイザー製のワクチン—マイナス70度やマイナス80度—この保管に係る費用といったものもこれ

には含まれているのかということと、もう1点は、冷凍庫の確保というのはどのような体系ができているのかお伺いしたいのです。

保健所次長　まず、保管料につきましては、電気代等のことかと思いますが、それについては国庫補助の対象となっているというふうに聞いております。また、今おっしゃったようなマイナス75度を保つディープフリーザーの配置につきましては、国が一括購入をしております、今、県及び市という単位での配置数の調整を、順次行っている最中です。

金井委員　恐らく集中的に混む時期があるのではないかなと思います。当然、土曜日、日曜日の接種となると、医師も休みなく、看護師も休みがなかなか取れないというような期間が半年ぐらい発生することが予想されるのかなと思うのですが、その辺について、スタッフの確保策などは確認できていますか。

保健所次長　今おっしゃいましたように、接種につきましては、土曜日、日曜日の実施も、市民の方に広く接種していただくためには必要なことかと思っております。
それを進めていくに当たって、まずは市内の

医療資源の方々がどれだけその需要を消化できるのかというところに話は大きく集約されるわけなのですけれども、土日開催や集団接種の実施ということになりましたら、本会議の答弁にもございましたように、富山市医師会、富山県看護協会、富山市薬剤師会といった医療機関の従事者の方々の関係団体、また、市職員の応援体制を取って実施したいと考えております。

高見委員

誰とは言いませんけれども、市に関係している人の中に、ワクチン接種に対しての疑いとか疑心暗鬼とか、そういう考えを持って、もうそのような発言をしておられる皆さんが既にいるのです。だから「俺は予防接種をしない」ということを、何かしきりに発言しておられる人もおられるので、市民がそうならないように、やはりワクチンに関する正確な情報をしっかりと流すと。ちまたのいろいろな後遺症がひどいとか何とかという、訳の分からないような—そういう中傷、デマが出ないように対策を講じて、しっかりとやっていただきたいと思います。大変でしょうけれども、よろしくお願いします。

分科会長

ほかにはないようですので、これをもって議案

の質疑を終結いたします。

これより、議案第1号中福祉保健部所管分の
意見の表明を行います。

意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長

意見の表明なしと認めます。

以上で、福祉保健部所管分の議案の審査を終
了いたします。

これで、2月臨時会の当分科会に送付されま
した全議案の審査を終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

分科会長報告については、正・副分科会長に
御一任願いたいと思いますが、いかがでしょ
うか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和3年2月臨時会の予算決
算委員会厚生分科会を閉会いたします。

令和3年2月臨時会
予算決算委員会厚生分科会記録署名

分科会長 高 田 真 里

署名委員 松 井 邦 人

署名委員 金 井 毅 俊